

改善のポイント

施工の流れ→製品一覧→単体完成品→部材という、施工作業の大から小を見開きで見てください、施工する前にイメージを持っていただきます。

Point 1

施工の流れが分かる章もくじ

4 床置ユニットの組立て

床置ユニットの組立て手順は、H4をモデルに説明しています。組立ての流れは以下のページをご覧ください。

- 1 準備 14
- 2 組立て 15
- 3 配線のしかた 18

※D600の施工方法は、製品に同梱されている施工説明書をご覧ください。

施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ④ドライバー (No.2)
- 電動ドリル (インパクトドライバーは不可)
- ゴムハンマー
- 接着剤 (付属品)
- 組立定規 (総合施工説明書FLK-770に同梱)


※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。

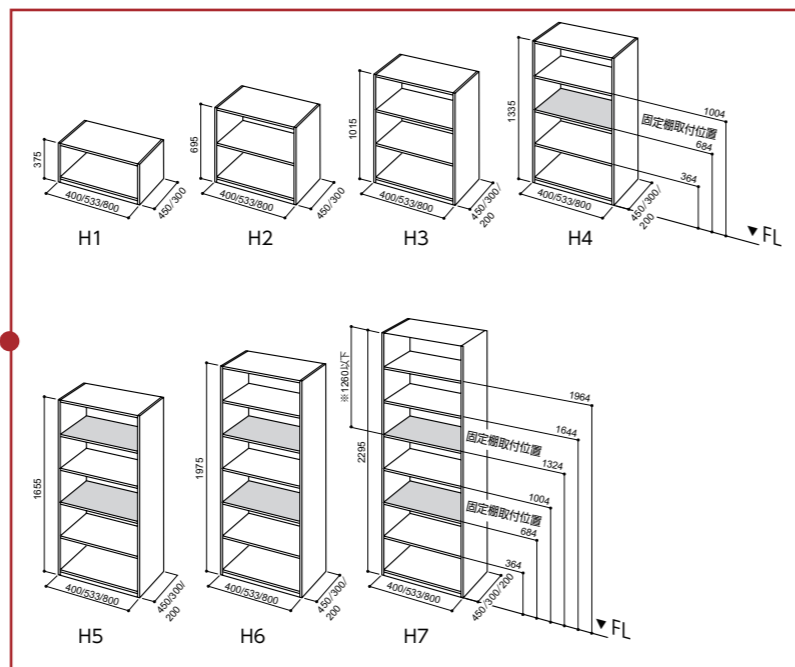
施工上のご注意

- ユニットの組立てるときは、床の上に直接部材を置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。製品または床材にキズがつくおそれがあります。

固定棚について

床置ユニットは、高さ(段数)による違いが7種類(下図のH1～H7)あります。サイズと固定棚の位置と枚数を確認してください。

-  部は固定棚取付位置を表しています。
- 天板、底板を含めて、固定棚の間隔は1260mm以上離れないように配置してください。(下図H7の※)
- 扉を取付ける場合は、扉の上下端に棚板を配置してください。➡P.78

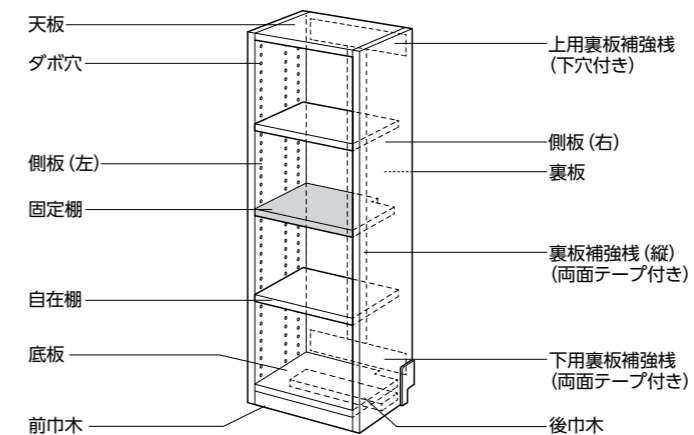


Point 2

製品一覧が分かる

4 床置ユニットの組立て

H4の主な名称



梱包品番

梱包品番を確認してください。D200ユニットとD300のH1/2/3ユニット、D450のH1/2/3ユニットは、垂直部材と水平部材をセットで梱包しています。それ以外のユニットは、垂直部材と水平部材を分けて梱包しています。

■には、ユニットカラー番号(1:ブラック/2:ホワイト)が入ります。

幅	奥行 高さ	D200						
		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
W400		-	-	FLK11-134■	FLK11-144■	FLK11-154■	FLK11-164■	FLK11-174■
W533		-	-	FLK11-234■	FLK11-244■	FLK11-254■	FLK11-264■	FLK11-274■
W800		-	-	FLK11-334■	FLK11-344■	FLK11-354■	FLK11-364■	FLK11-374■

幅	奥行 高さ	D300						
		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
W400	垂直部材				FLK14-K141■	FLK14-K151■	FLK14-K161■	FLK14-K171■
	水平部材	FLK11-111■	FLK11-121■	FLK11-131■	FLK15-K141■	FLK15-K151■	FLK15-K161■	FLK15-K171■
W533	垂直部材				FLK14-K241■	FLK14-K251■	FLK14-K261■	FLK14-K271■
	水平部材	FLK11-211■	FLK11-221■	FLK11-231■	FLK15-K241■	FLK15-K251■	FLK15-K261■	FLK15-K271■
W800	垂直部材				FLK14-K341■	FLK14-K351■	FLK14-K361■	FLK14-K371■
	水平部材	FLK11-311■	FLK11-321■	FLK11-331■	FLK15-K341■	FLK15-K351■	FLK15-K361■	FLK15-K371■

幅	奥行 高さ	D450						
		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
W400	垂直部材				FLK14-K142■	FLK14-K152■	FLK14-K162■	FLK14-K172■
	水平部材	FLK11-112■	FLK11-122■	FLK11-132■	FLK15-K142■	FLK15-K152■	FLK15-K162■	FLK15-K172■
W533	垂直部材				FLK14-K242■	FLK14-K252■	FLK14-K262■	FLK14-K272■
	水平部材	FLK11-212■	FLK11-222■	FLK11-232■	FLK15-K242■	FLK15-K252■	FLK15-K262■	FLK15-K272■
W800	垂直部材				FLK14-K342■	FLK14-K352■	FLK14-K362■	FLK14-K372■
	水平部材	FLK11-312■	FLK11-322■	FLK11-332■	FLK15-K342■	FLK15-K352■	FLK15-K362■	FLK15-K372■

Point 3

完成図から必要な部材が分かる

Point 4

単品図を入れることで、開梱時に部材の差異を明示

4 床置ユニットの組立て

構成部品

部材の種類と数量、状態を確認してください。

高さ(段数)と外観図		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
垂直部材	側板	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
	裏板	1	1	1	1	1	1	1
	裏板補強棧(縦) ※ ()内はW800の場合 両面テープ付き	—	1 [2]	1 [2]	1 [2]	1 [2]	1 [2]	1 [2]
	上用裏板補強棧 下穴付き	1	1	1	1	1	1	1
	下用裏板補強棧 両面テープ付き	1	1	1	1	1	1	1
水平部材	天板	1	1	1	1	1	1	1
	底板	1	1	1	1	1	1	1
	前巾木	1	1	1	1	1	1	1
	後巾木	1	1	1	1	1	1	1
	固定棚	—	—	—	1	2	2	2
	自在棚	—	1	2	2	2	3	4
締結部材など 個装袋入り	巾木避けカバー ※固定棚の切欠き隠し カバーにもなります。 左用 (Lの刻印) 右用 (Rの刻印)	左右各1	左右各1	左右各1	左右各2	左右各3	左右各3	左右各4
	組立用ピン(天板・底板・固定棚) ※ ()内はD200用の場合	12	12	12 [8]	18 [12]	24 [12]	24 [12]	24 [12]
	自在棚用ダボ ※ ()内はD200用の場合 φ37穴用	—	6	12 [8]	12 [8]	12	18 [16]	24 [20]
	連結ビス・連結キャップ・ 連結ワッシャー (φ4用) ※ ()内はD200用の場合 φ3.8×28	4セット	4セット	4セット	6セット	6セット	8セット [6セット]	8セット [6セット]
	壁固定ビス・連結キャップ・ 連結ワッシャー (φ4用) φ3.8×51	4セット	4セット	4セット	4セット	4セット	4セット	4セット
	補強棧固定ビス L=35	5	5	5	5	5	5	5
	接着剤 ※巾木と底板、側板と裏板を接着します	1	1	1	1	1	1	1

4 床置ユニットの組立て

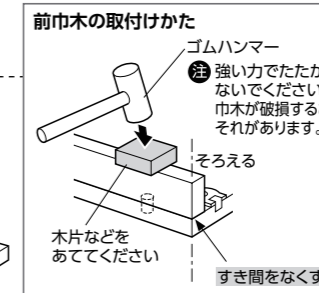
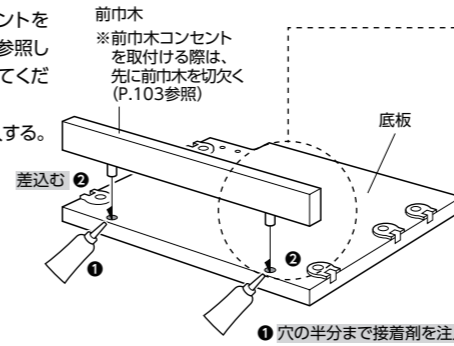
1 準備

図中の丸数字 (①など) は、手順を表しています。

1 底板の準備

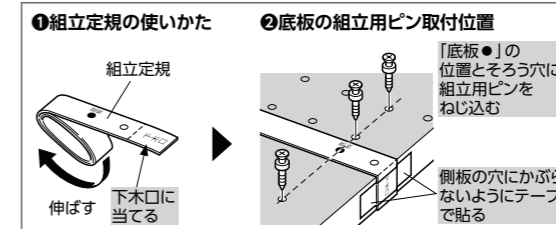
※前巾木に前巾木コンセントを取付ける際は、P.103を参照して、先に前巾木を切欠いてください。

- ① 底板裏面に接着剤を注入する。
- ② 前巾木を底板に差し込み、確実に取付ける。



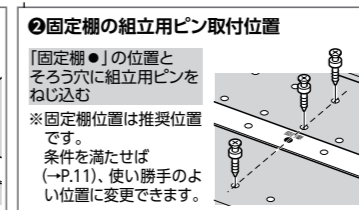
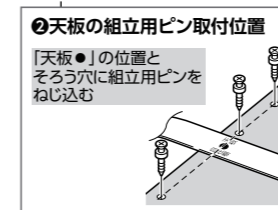
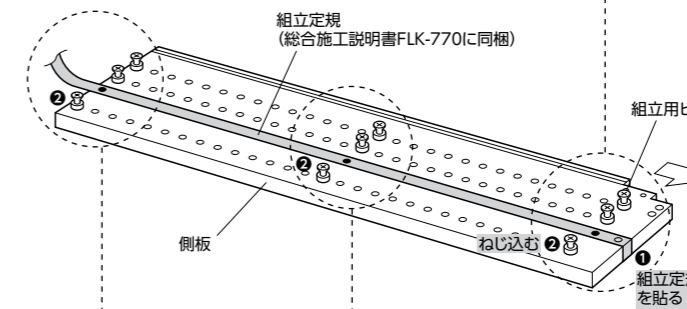
2 側板の準備

- ※図は側板(左)です。側板(右)も同じ要領です。
- ① 組立定規(総合施工説明書FLK-770に同梱)を貼付ける。
 - ② 組立定規にそって、組立用ピンをねじ込む。
 - ③ 組立定規を外す。



〈固定棚の取付位置について〉

- 固定棚の取付位置は「組立定規」を参照するか、P.11「固定棚について」を参照してください。推奨位置ですので、天板・底板を含めた固定棚の間隔が1260mm以内であれば、位置をずらしてもユニット強度に問題はありません。
- 扉やユニットとの納まりを考慮のうえ取付けてください。
- H1/2/3に固定棚はありません。H4の固定棚は1枚です。



Point 5

本文とイラストを一致させる

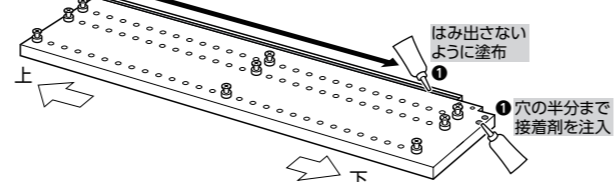
4 床置ユニットの組立て

2 組立て

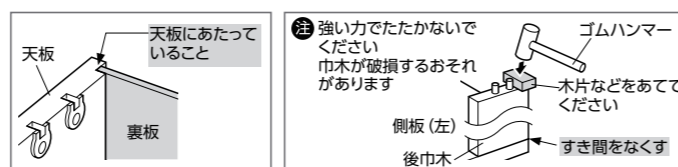
図中の丸数字 (●など) は、手順を表しています。

1 ユニット本体の組立て

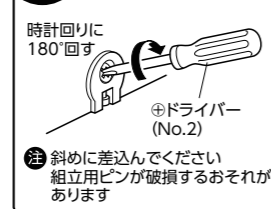
- 側板に接着剤を塗布・注入する。
※図は側板(左)ですが、側板(右)も同様に注入してください。



- 後巾木を側板(左)に差込む。
- 底板、天板、固定棚を側板(左)に差込み、固定する。

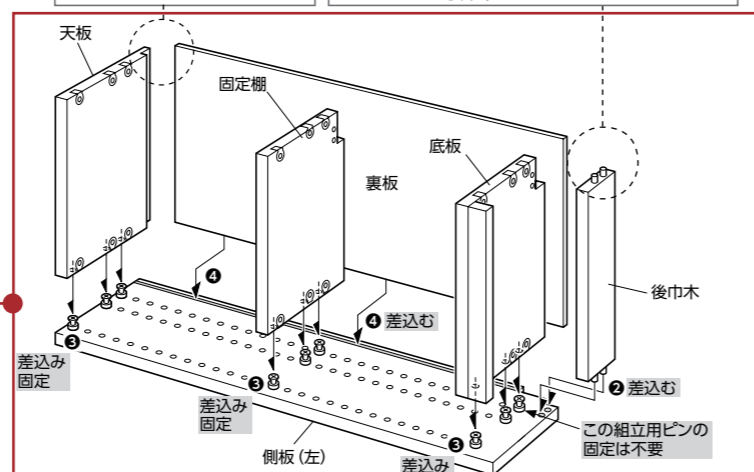


- ・●天板、底板、固定棚の固定のしかた

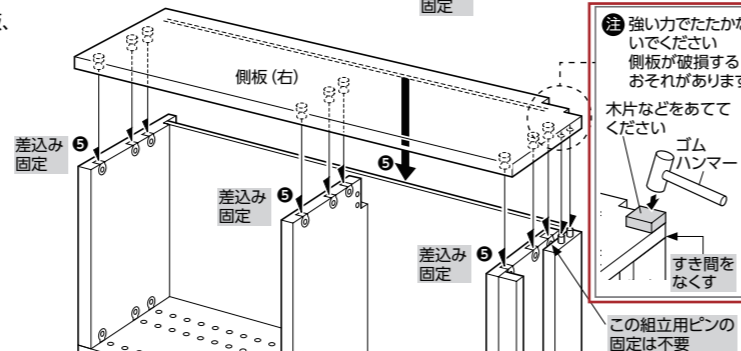


- 斜めに差込んでください組立用ピンが破損するおそれがあります

- 裏板を側板の溝に差込む。



- 側板(右)を後巾木、裏板、底板、天板、固定棚に差込み、固定する。



Point 6

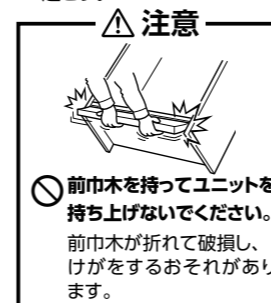
できるだけ大きくイラストを配置

4 床置ユニットの組立て

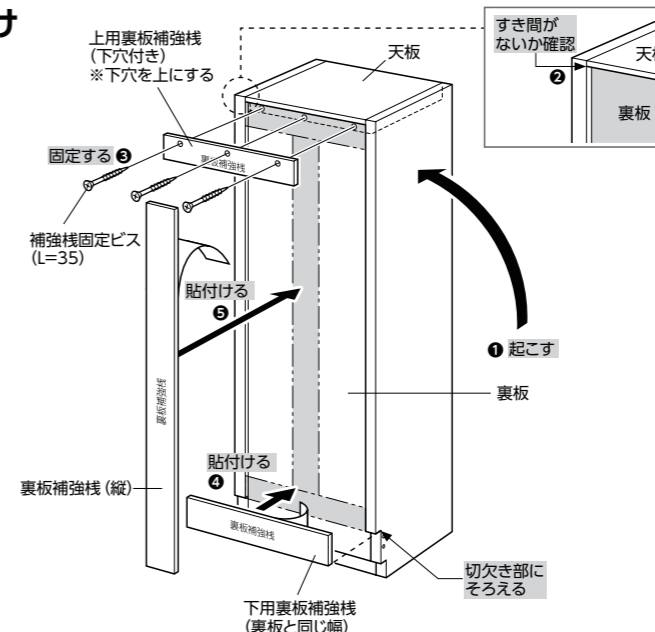
2 裏板補強棧の取付け

〈W400/533の場合〉

- 組立てたユニット本体を起こす。



- 天板と裏板の間に、すき間がないか確認する。
- 上り裏板補強棧をビスで固定する。
- 下り裏板補強棧を水平に貼付ける。
- 裏板補強棧(縦)を、ユニット本体の中央部に貼付ける。

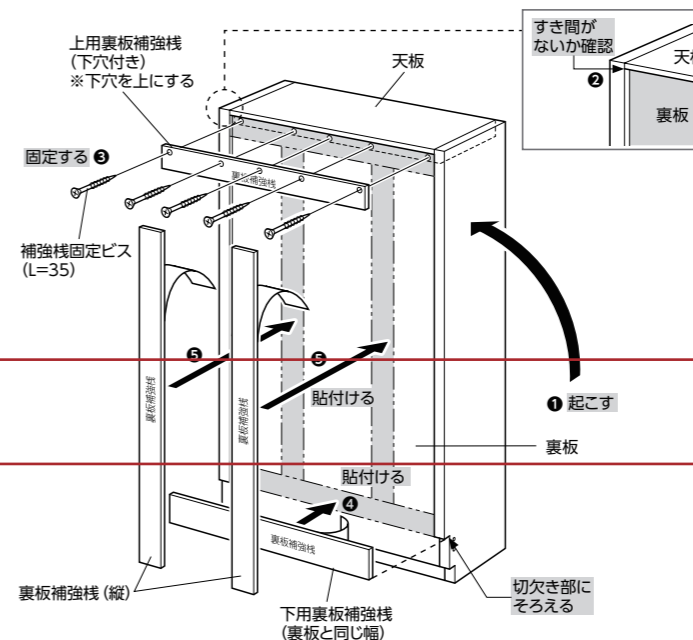


〈W800の場合〉

- 組立てたユニット本体を起こす。



- 天板と裏板の間に、すき間がないか確認する。
- 上り裏板補強棧をビスで固定する。
- 下り裏板補強棧を水平に貼付ける。
- 裏板補強棧(縦)を、ユニット本体の裏板を3等分する間隔で貼付ける。



Point 7

施工初心者に向け、ポイントや注意事項を丁寧に説明